



ユニット配管（左上、下）、継手（右上）

- 本社所在地：神奈川県横浜市港北区箕輪町2丁目6番50号
- 事業概要：オフィスビルや商業施設に用いるステンレス配管の組立加工事業。
- 常時使用する従業員：97名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：23.9億円
(2026年3月期)
- 法人番号：8020001021341
- Web：https://mac-ps.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
友杉 聡

確かな品質で未来をつなぐ

昭和45年の設立後、50年が経過し、100年企業を目指す上で培った技術やノウハウを発揮しながら国内の経済成長に貢献する存在としての更なる守備範囲の拡大を目指していく。後継者不足による国内の同業者廃業が進む中、海外企業の参入も増加しており、日本で生まれた企業として自国の強化と国益の最大化を実現することが当社の至上的命題であると考えている。データセンターを中心に日本の経済基盤を支える分野における製造の国内化は重要な市場課題であり、当社は100億円を達成する上で地域経済や雇用の貢献は勿論のこと、日本の技術力に貢献し、確かな品質で日本経済の未来を支える企業に成長することを目指していく。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成を目指し、AI時代の社会インフラとして需要増加するデータセンター増加に起因する周辺ニーズも含めた配管加工事業の拡大に注力を行いステンレス配管におけるニッチトップを目指す。



課題

- ①現在の最大の問題は生産工場の物理的なキャパシティ限界である。本事業ではハード、ソフトの両面で受注規模拡大に向けた体制強化を行っていく。
- ②100億円の達成に向けては収益力の底上げが重要である。特に市場ニーズが高まるデータセンター配管への対応を主軸としながら、新商品の開発や関西圏への販路拡大を行うことで市場浸透、新商品開発、新市場開拓の3面から成長戦略を実現していく。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高の達成に向けては受注キャパシティの拡大に向けて生産工場の増築を行っていく。工場の敷地面積を倍にしていくと同時に受注増加に向けた採用の強化や管理体制の強化を行っていく。全国的な労働人口の減少に対して、工場内の自動化や標準化を進めながら受注キャパシティを最大化していく。これにより、データセンター配管を最大限受注していく。また、開発を進めている新工法の実現に向けた製品開発や関西への進出に向けた営業体制の強化を行っていく。

実施体制

- ①生産キャパシティの増加に向けて工場の増築を行うと共に段階的に追加投資を実施することで自動化や省力化による労働生産性の向上を図りながら安定した事業基盤と拡大を推進していく。
- ②データセンター配管の受注や案件の大型化に伴う、アッセンブリ体制の構築に向けて、社内の熟練工を配置転換していく。
- ③関東を中心とした販路体制から関西に対する販路も拡大し、ステンレス配管におけるニッチトップ企業として仕入れ体制や供給体制を整えていく。